

成長・貢献・感謝

羽地中学校
学校だより204号
R2. 3. 18

高校入試に挑戦 学年末 学習のまとめ

十六日(月)

高校入試に挑戦

めあて

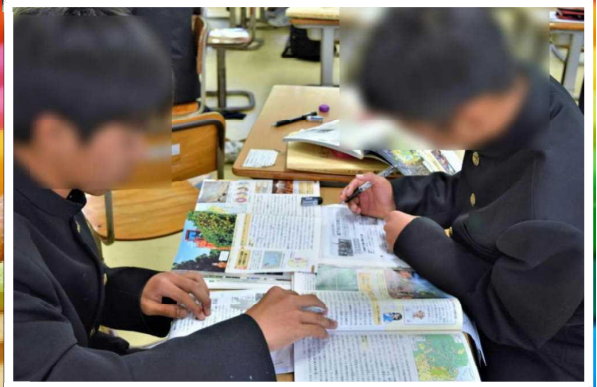
高校入試に挑戦し、
自分の実力を知らう。



2年国語科授業では、2年で履修すべき内容を終えて、今年度の県立高校の入試問題を解いています。大問一から大問五まで、2時間に分けて取り組みました。3年生じゃないから解けない、ではないのです。入試問題の傾向に慣れ、自分の現在の実力を知ることがねらいなのです。

英語科も入試問題に取り組んでいます。県立高校の内申点と入試点の割合は、5対5

または4対6で若干、入試点が多い。
入試得点は、各科目60点満点の五教科で300点満点。自分の学力がどれくらいなのか、希望する学校ではどれくらいの学力が求められているか、を知っておく必要があります。
内申点は定期テスト以外に提出物や授業態度、発表ブルーカード、等、努力すれば加点可能な評価が沢山あるので、点取り虫になる必要はないが、真面目に取り組んだ方がよい。二年生は既に受験準備を着々と進めている。そんな授業でした。



来年の入試はもう

始まっている



内申点は頑張ったことの評価

内申点とは、三学期の通知票に表している各教科ごとの5段階評定の3年間分の合計得点のことです。各教科ごとに1〜5の評定の足し算で、技能教科は1・5倍の得点となります。
例えば、3年間どの教科もオール3ならば、99点、オール4なら132点、オール5なら165点満点となります。内申点は、定期テストだけの点数ではなく、授業態度、提出物、ノートなど、多くの資料から評価される「よく頑張ったことの評価」なのです。努力は続けるもの。繰り返し学んでいきたい。